



## 冬季休業を終えて

みなさん、あけましておめでとうございます。2024年も44期全員で、元気に頑張っていきましょう。

前号の続きを書く予定でしたが、それよりも大事なことを伝えなければなりません。2024年は大変なスタートでした。1月1日の『能登半島地震』、そして翌日2日の『日本航空機516便衝突炎上事故』です。まずは地震。これを書いている時点での死者数は220人、安否不明者26人。毎日流れてくる報道を見ていると胸が張り裂けそうになります。雪の降る中、避難場所であつらい思いをしている方々、懸命に救助活動をしている自衛隊、警察、医療関係の方々…。自分たちが生きている意味、平穩に暮らせることのありがたさなどを考えざるを得ません。地震発生から2週間経った14日、岸田総理がようやく現地入りしたようです。なぜこんなに遅いのか。トップに立つ者、リーダーたる者の姿勢がどうあるべきかということも考えさせられます。とにかく、我々ができることは何なのかを考えながら、一日でも早い復興を祈るばかりです。次に日航機衝突事故。新千歳空港発であったこともあり動揺しましたが、乗客、乗務員全員が無事であったことを聞き、少し安心しました。しかし、海上保安庁の航空機に乗っていた5の方が亡くなりました。それも能登半島地震の被災地に食料等を運ぶための飛行機だったというのが…。今回の事故では、「奇跡の救出劇」などという見出しがよく使われ、CAの迅速な判断や避難誘導に国内外から賛辞が寄せられています。報道によると、この飛行機に搭乗していたCAの約半数は‘23年春に入社したばかりの新人だったそうです。それでも「奇跡」を起こせたのは、4カ月にわたる「研修」、すなわち厳しい「訓練」です。教官から「これが本番だったら、お客様は死んでいました。あなたは命を預かる責任の重さをわかっているの？」と怒られ、涙を流す人もいるそうです。この2つの大きな出来事から、我々は何を学ばなければならないのか…。しっかり考える1年にしましょうね。 (2学年主任 中村 俊)

## 勉強合宿が行われました (1月9日~11日)

### 1日目



初日からたくさん勉強しました！先生にわからないことを積極的に質問している人が多く見受けられました。学年主任の中村俊先生から、みかんの差し入れがあり、エネルギーチャージ！

へトヘトになりながらも最後まで頑張りました！



### 2日目

